

地球の70%は海,水の壮大なる循環

2015年7月22日作成

2013・5・2

NHKラジオより



豊田 直之 NPO法人 海の森・山の森事務局 理事長

1959年横浜市生まれ。東京水産大学(現・東京海洋大学)水産学部卒。

サラリーマン、漁師、ダイビングインストラクター、雑誌編集者兼ライターを経て、写真家・中村征夫氏に師事。

2003年に独立後、水中撮影をメインとする制作プロダクション「有限会社ティエムオフィス」を設立。同代表。

数年前より海から川をさかのぼり、最終的に海に注ぐ最初の一滴を求めて撮影活動を開始。

この水の壮大なる循環「水の輪廻」をテーマに撮影活動を展開する。

その水の輪廻を環境保全という観点でとらえ、2012年にNPO法人海の森・山の森事務局を設立し、

同理事長としても様々な方面への活動を展開している。

現在は、神奈川・横浜の水源地を積極的に撮影する。著書多数。

ラジオやテレビなどの出演も多い。 有限会社ティエムオフィスHP<http://www.toyoda-marine-office.com>

NPO法人海の森・山の森事務局HP <http://www.uminomori-yamanomori.com>

我々が住む地球は、70%が海。海がメインの活動をしている。30%の陸地に70億人を超える人間を初めとした多様な生き物が生活をしている。北半球では60%が海で、南半球では80%が海。

海と陸・山はつながっている。その中間に水があり人間がいる。海の森(海上保安庁によると海の深さは平均で4750m)と山の森の合間に人間が住んでいる。

海の水と人間の血液の組成はそっくり。生命が海水の中で誕生したことと深く関係している。血液から蛋白質などの大きな分子を取り除いた残りの部分、ナトリウム、カリウム、マグネシウム、カルシウムなどの比率は殆ど海水と同じ。

海とは、地球の表面積の70%を占める、塩水で覆われた部分のことである。海流は、世界中の気候を支配し、多くの生物の生命をも左右する。人間が快適に過ごせるかどうかだけでなく、生命の存続さえも、海の影響の下にあるのだ。しかし、地球温暖化や水産資源の乱獲により、海が荒れ、漁場が枯渇してしまう恐れがある。

地理学者によって、「大洋(Ocean)」は太平洋、大西洋、インド洋と北極海の4区域に大分されている。海域が狭くなるにつれて、地中海などの「海(Sea)」、メキシコ湾などの「湾(Gulf)」やベンガル湾などの「入り江(Bay)」と呼び名が変わる。カスピ海やグレートソルト湖といった、独立した塩水の水域は海洋とは区別される。



地球上の海水量は、約13億5000万立方キロメートルだ。この量は、地球上の水の97%を占める。海水には約3.5%の塩が含まれ、地球上で発見されたすべての化学元素の痕跡が残る。海は太陽熱を吸収し、その熱を大気中に放出する。熱は絶えず流動する海流によって、世界中に運ばれていく。海流は、冬期にはヒーター、夏期にはクーラーの役割を果たし、全世界の気候変動と深く関連している。

地球上最初の生命は海の中で誕生したといわれている。海には現在も、小さな単細胞微生物から、現存する動物の中では最大の動物であるシロナガスクジラに至るまで、数多くの植物や動物が生息している。

